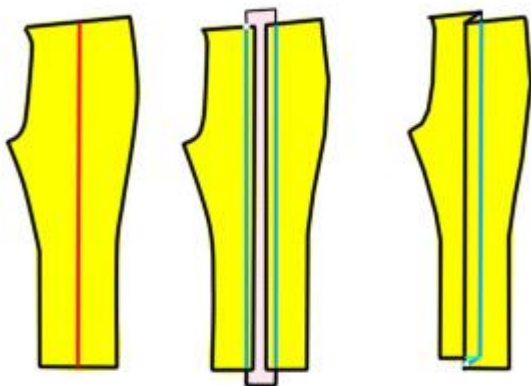


サイズ調節の仕方



- 1)ズボンを縦半分に分割する。
- 2)増減したい分量÷4を計算する(A)
型紙を広げたい場合は(A)分間に紙をはさむ。
縮めたい場合は重ねて小さくするだけでOK
同じようにベルトも広げたりたんだり
してください

★この型紙で作りました★



メンズストレートロングパンツの型紙

切ったあとパーツの前と後ろの区別が付かなくなったら？

股ぐり(しの字の所)が浅いほうが前、深いほうが後です。

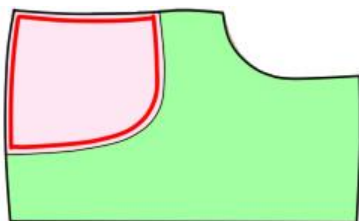
上手くズボン丈が測れないという方は



裁断した全てのパーツの端をほつれ止めをしてください。

ベルトと持ち出しの裏等に接着芯を付けてください。

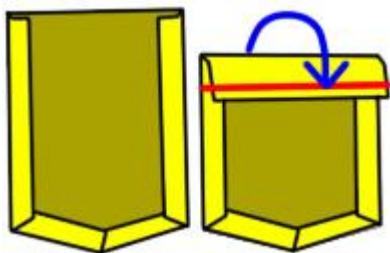
くわしくは縫う前の下準備を参照



前ポケットの見える部分に表布重ねてください。

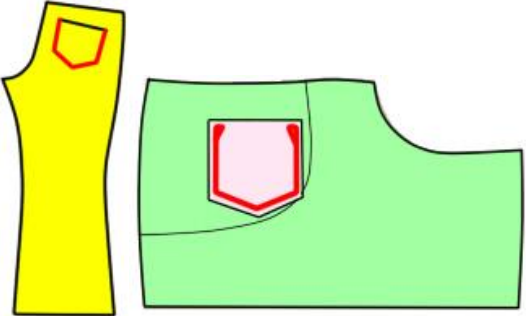
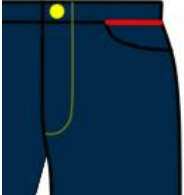
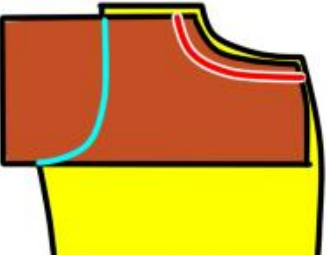


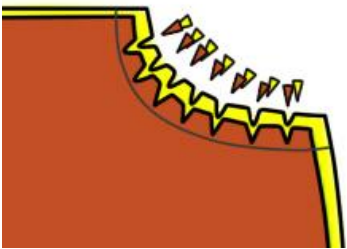
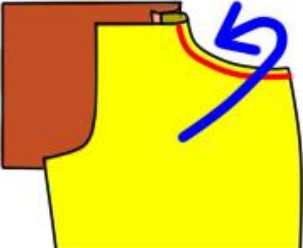

赤い部分を縫ってください。

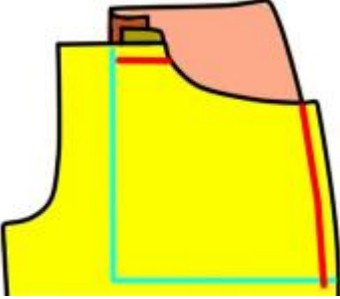

薄い生地なら全部表布で作ってもよいのですが、デニムなど厚手になると、生地が重なって厚くなるので、あえてポケットの土台は薄い生地で作り、見える部分だけに表布を重ねてください。



コインポケットと後ポケットの縫い代をアイロンで折ってください。

ポケットの口をミシンで縫ってください。

	<p>後ポケットとコインポケットを縫って下さい</p> <p>このときお好みでカシメ(鋳)やネイルヘッドなど金具を打ち付けてください。</p>
	<p>ポケットを縫って下さい</p>
	<p>表を上にした前身頃の上に裏を上にしたポケットを重ね(中表)縫ってください。</p> <p> ポケット表</p> <p> ポケット裏</p>
	<p>カーブの部分そのまま折ると、外側と出来上がり線の長さが異なるため、引きつるので縫い代に切込みを入れてください。</p> <p>縫い目を切らないように0.8cm位のところまで三角にきってください。</p>
	<p>ポケットを裏に回し、ポケット口の端から0.2~0.5cmの所を縫ってください。</p> <p>お好みでジーンズのように2本縫ってもいいですね。</p>
	<p>ポケットを脇のほうへ半分に折ってください。</p>

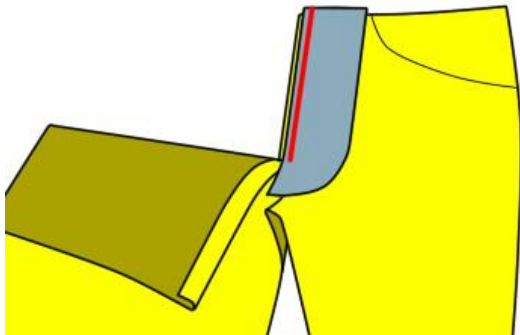
	<p>本体をよけて、ポケットの底だけ縫ってください。</p>
	<p>ポケットの上と脇を端から 0.5cm の所を縫って固定してください。</p>
	<p>ポケットをついたら後ヨークを縫ってください。 縫い代をすそ側に向けて折り、表からヨークと後身頃の縫い目のそばをミシンで縫ってください。 どちらに縫い代を倒すかはお好みでOKです</p>  <p>←倒す</p> <p>ヨークの左右が分からなくなった時は高いほうが中心側。 低い方が脇側と思ってください。</p>
	<p>ファスナーが付く部分を避けて股の上を縫って下さい。</p> <p>ファスナーはファスナーを付ける位置の長さより長いものを使って下さい。</p> <p>長いファスナーは切って短く出来ますよ。</p>



ファスナーを付けてください。

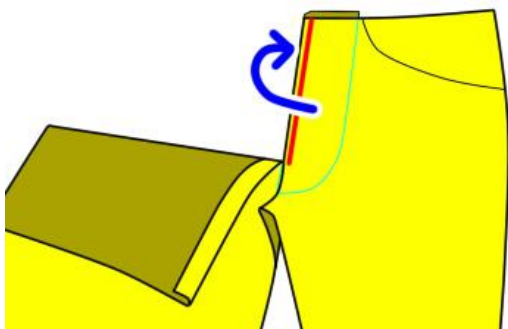
[ズボンのファスナー付けはこちら](#)

(動画もあるよ)



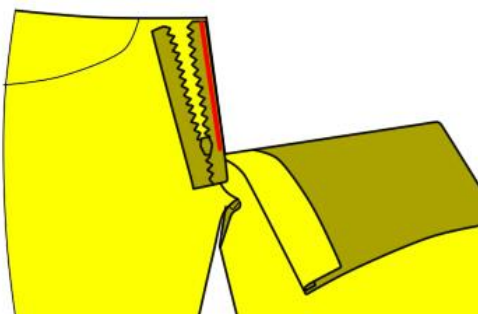
ズボンの前中心に[見返し](#)を裏を上にして重ねてください。

端から 0.8cm の所を縫ってください。



[見返し](#)を裏側に折ってってください。

端から 0.2cm の所を縫ってください。

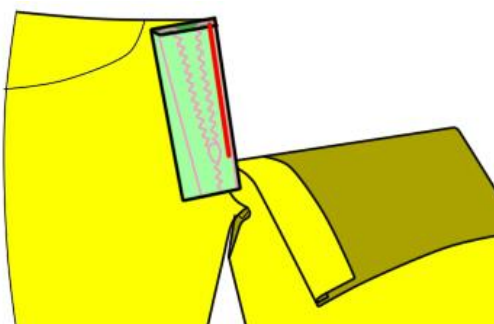


反対側の中心にファスナーを裏を上にして重ねてください。

ファスナーの端を、前中心の端より 0.2cm 位離しておくと縫いやすいです。

(前中心ピッタリにファスナーを合わせるとミシンによっては、押さえ金の幅が広くて縫いにくいのでちょっとずらしておくと縫いやすくなります。)

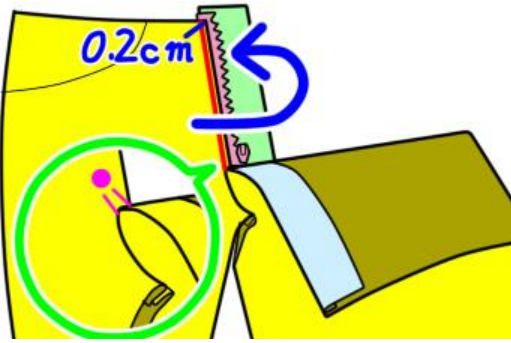
端から 0.5cm 位のところを縫ってください。



持ち出しを重ねてください。

折り山ではない方を端に合わせてください。

端から 0.8cm 位のところを縫ってください。

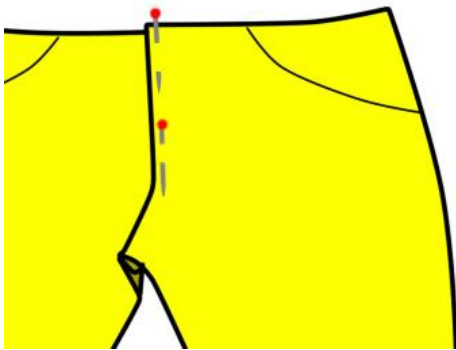


縫い代を裏側へ折ってください。

端から 0.2cm の所を縫ってください。

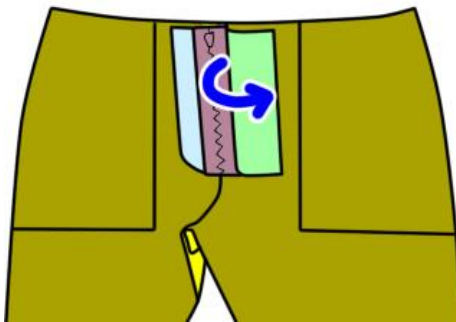
この時ファスナーあきの一番下の所は拡大図のように重ねてください。

この重なりのおかげでファスナーが隙間から見えるのを防ぎます。



出来上がり通りに前を重ねてください。

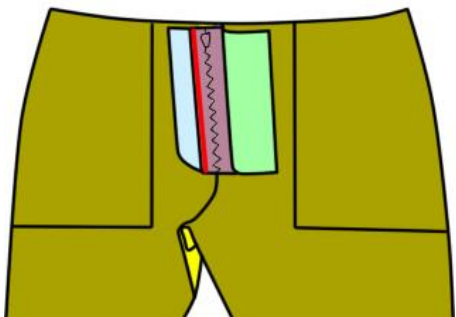
ずれないようにピンでとめてください。



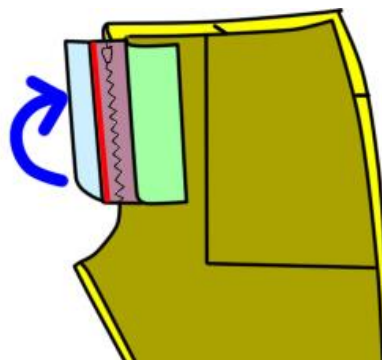
ここからは裏からの作業になります。

生地を裏が見えるように置いてください。

持ち出しをよけてください。



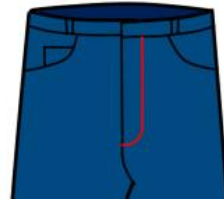
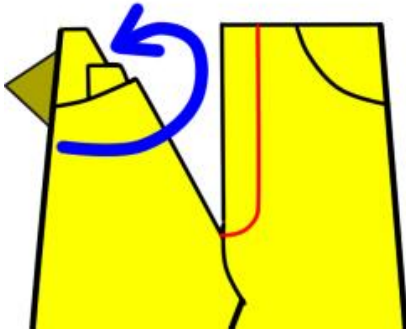
引きつったりゆるんだりしない自然な状態で、見返しと、ファスナーだけをピンでとめてください。



ファスナーと見返しを縫ってください。

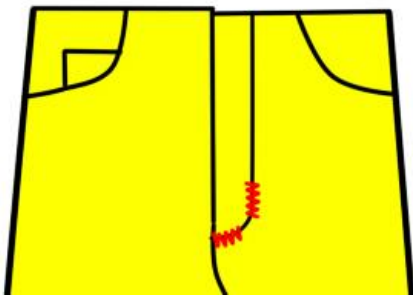
このときも**持ち出しをさけて縫う**。

縫っていく途中、ファスナーの金具が邪魔になることもあるとおもいますので、その際は金具を動かして縫ってください。

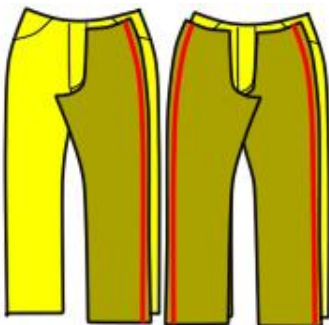


表側に返してください。

ぴらぴら浮いたままの見返しを押さえる為に、表から縫って固定する。
この場合も、絶対下の持ち出しを縫わないように避けて縫って下さい。
水などで消えるチャコペンなどで、あらかじめ縫う位置に線を引いておくと綺麗に縫えます。



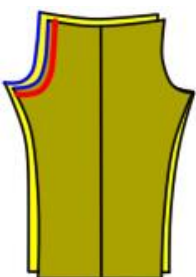
見返しと持ち出しを固定してください。
よけていた部分を元に戻してください。
前身頃と、持ち出しと見返しを重ねて縫ってください。
返し縫を4~5回してとめても良いですが、ジグザグ縫いにして、縫い目の幅を小、縫い目の長さを0.2~0.4くらいにして細かくジグザグ縫いで縫うと、市販のズボンのようなとめが出来ます。
これでファスナー付けは完成。



前身頃と後ろ身頃を表が内側になるように重ねてください。
脇を縫って下さい。
脇、股下の縫い方ははこの動画を参考にしてください

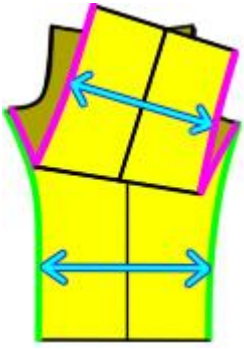


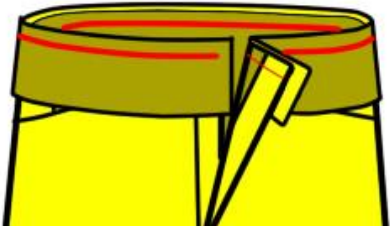
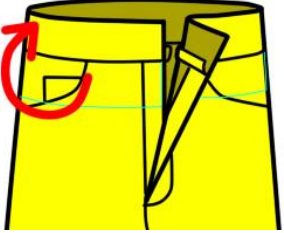
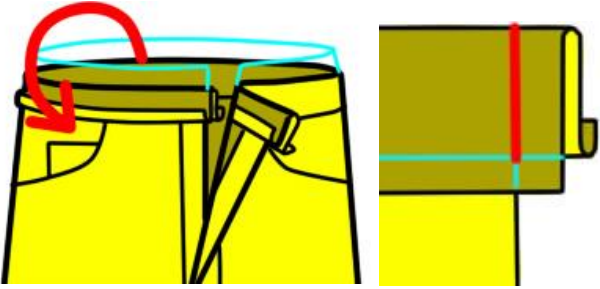


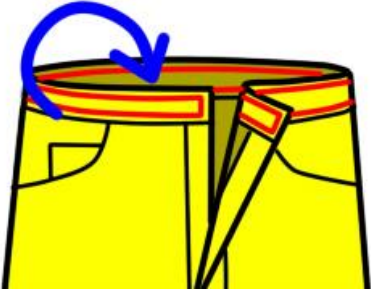
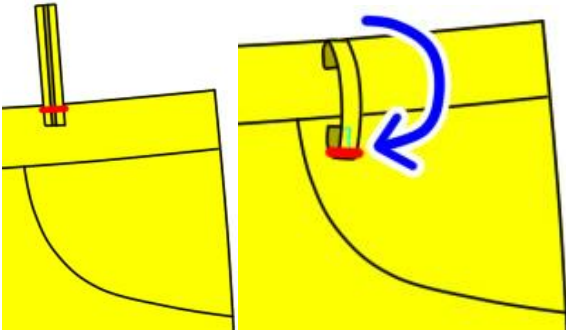
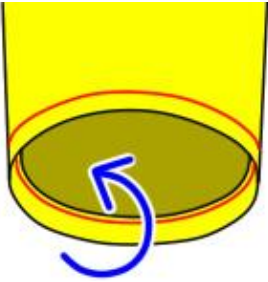

一旦ズボンを広げる。
脇の縫い代を後ろ身頃の方へ倒して、後ろ身頃側に縫い代を固定するために縫い目から0.2~0.5cmの所を縫う。
2本縫ってもよい



上の図の後ろ身頃の股の上(青い部分)同士を表同士が内側になるように重ねる。

後の股の上を縫う

	<p>繋がった股の下同士を合わせる</p>
	<p>上の図のピンクの線同士と黄緑の線同士を表同士が内側になるように重ねる。</p> <p>股の下を縫う。</p>
	<p>ベルト通しを作る。</p> <p>ほつれどめを忘れずに！</p> <p>アイロンで両端を裏側に折る。</p> <p>両端 2～3mmの所を縫う。</p>
	<p>ズボンを表返す。</p> <p>表にしたベルトの上に裏を上にしたベルトを重ねる。</p> <p>ベルトの両端の縫い代がはみだすように重ね縫う。</p>
	<p>縫い合わせのところからベルトを起こす。</p>
	<p>ベルトは裏がえった状態のまま、持ち出しの延長線上を縫います(拡大図参照)</p> <p>裏側のベルトは下の縫い代はまっすぐのままで構いません。</p> <p>縫い代を折りあげると厚くなりすぎて家庭用ミシンでは縫えなくなる場合があります。</p>

	<p>ベルトを表返し、身頃の縫い代をベルトの中に入れる。</p> <p>端から2~5mmの所を表から縫う。</p> <p>縫いにくい場合は先にしつけ糸でミシンで縫う所より2mm離れた所を縫っておくとミシンで縫いやすくなる。</p> <p>(ミシンで縫うところを縫うと後で抜きにくくなるので、少しはなれたところを縫ってね)</p> <p>後でほどくのでしつけ糸は粗い縫い目で良い。</p>
	<p>ベルト通しはお好みで数をかえておつけください。</p>
	<p>アイロンですそを折る。</p> <p>すその縫い代より5mm短めのところをミシンで縫う。</p>
	<p>カギホックかボタンホールを開けてボタンを付ける。</p> <p>完成</p>

必要な材料

表生地、ポケット用の薄い生地少々、ファスナー、ボタンかホック

お勧めの生地

ポリエステルツイル ポリエステルツイル (中厚地のもの)。しわになりにくいのでかばんなどに詰めて衣装を持ち運びたい場合はこちらがオススメです

・カラーデニム・カツラギ 厚地の綿生地です。丈夫でカッチリと重厚な仕上がりになります。カーゴパンツとかがっちりさせたい場合はこちらを買うと間違いないと思います。

綿ツイル 色数、柄が多いです。

上記のカラーデニムやカツラギよりやわらかい仕上がりになります。市販の綿パンツは大体この生地を使っている事が多いです。